

大阪市、地下鉄99駅を避難施設指定 ミサイル攻撃懸念

2022/4/7 19:38 | 日本経済新聞 電子版

大阪市の松井一郎市長は7日の記者会見で、北朝鮮ミサイルの排他的経済水域（EEZ）内への落下やロシアによるウクライナ侵攻を受け、国民保護法に基づき、大阪メトロの地下駅舎99カ所を避難施設に指定したと発表した。

【関連記事】[大阪市、ウクライナ避難民に支援金 1世帯50万円](#)

政府は、ミサイル攻撃で生じる爆風からの被害軽減のため、地下施設や堅固な建築物を避難先として指定するよう都道府県や政令指定都市に促し、2025年度末までを集中的に取り組む期間と位置付けている。

大阪市の従来の爆風から身を守る避難施設は学校施設が大半だった。今回の指定で607カ所、約360万人の収容が可能となる。大阪府も7日、地下鉄駅舎6カ所を避難施設に指定した。大阪市分を含め府内全体の指定地下施設は、30カ所から138カ所に増えた。〔共同〕

本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は、日本経済新聞社またはその情報提供者に帰属します。また、本サービスに掲載の記事・写真等の無断複製・転載を禁じます。

Nikkei Inc. No reproduction without permission.